The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	平成二十四年度　退職教員略歴・主要業績
Author(s)	
Citation	大阪大学大学院文学研究科紀要. 2013, 53, p. 123-127
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/27200
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

平成二十四年度
退職教員略歴・主要業績

大庭（おおば）　幸男（ゆきお）　教授　西洋文学・語学講座（英語学）

大庭幸男教授　略歴・主要業績

昭和24年12月17日　福岡県嘉穂郡筑穂町内野に生まれる

学　歴

昭和49年３月	九州大学文学部文学科卒業
昭和49年４月	九州大学大学院文学研究科英語学・英文学専攻修士課程入学
昭和51年３月	九州大学大学院文学研究科英語学・英文学専攻修士課程修了
平成９年９月	博士（文学）（大阪大学）の学位を授与される

職　歴

昭和51年４月	山口大学教養部助手（～昭和53年４月）
昭和53年５月	山口大学教養部講師（～昭和58年３月）
昭和58年４月	大阪大学言語文化部講師（～昭和61年４月）
昭和60年８月	文部省在外研究員として Massachusetts Institute of Technology に留学（～昭和61年６月）
昭和61年５月	大阪大学言語文化部助教授（～平成３年３月）
昭和61年７月	客員研究員としてMassachusetts Institute of Technologyに留学（～昭和61年12月）
平成３年４月	大阪大学文学部助教授（～平成11年３月）
平成11年４月	大阪大学大学院文学研究科教授（～現在に至る）
平成22年４月	大阪大学大学院文学研究科副研究科長（～平成24年３月）
平成25年３月	大阪大学退職（予定）

受　賞

平成10年10月	市河賞（財団法人　語学教育研究所）
平成18年11月	大阪大学共通教育賞
平成18年11月	*ANNUAL REPORT OF OSAKA UNIVERSITY Academic Achievement* 2005-2006 の論文100選のうち24GRAPHICSに選考される

学会等役員

日本英語学会	大会準備委員（平成３年12月～平成５年11月）
	事務局長（平成８年４月～平成12年３月）

監事（平成15年４月～平成18年３月）
編集委員（平成15年10月～平成19年９月）
評議員（平成16年４月～現在に至る）
理事（平成17年12月～平成21年11月）
新人賞選考委員（平成19年４月～平成20年３月）
広報委員長（平成21年６月～平成23年３月）
特別賞選考委員（平成22年４月～平成25年３月）
理事（平成24年４月～現在に至る）
特別賞選考委員長（平成24年４月～平成25年３月）

日本英文学会　編集委員（平成12年４月～平成16年３月）
編集副委員長（平成13年４月～平成14年３月）
編集委員長（平成14年４月～平成15年３月）
監事（平成19年４月～平成20年６月）
理事（平成20年６月～平成21年３月）

日本英文学会関西支部
編集委員（平成21年４月～平成23年３月）
理事（平成23年４月～平成25年３月）

関西言語学会　実行委員（平成５年12月～平成８年11月）
運営委員（平成５年12月～現在に至る）
実行委員（平成20年４月～現在に至る）

阪大英文学会　会長（平成21年11月～平成24年11月）

日本学術振興会　科学研究費委員会専門委員（１段英語学）
（平成15年１月～平成15年９月）
科学研究費委員会専門委員（１段英語学）
（平成16年１月～平成16年12月）
科学研究費委員会専門委員（２段英語学）
（平成22年１月～平成22年12月）
科学研究費委員会専門委員（２段英語学）
（平成23年１月～平成23年12月）

東北大学大学院　文学研究科外部評価委員（平成18年10月～平成18年12月）

語学教育研究所　「市河賞」審査員（平成19年４月～現在に至る）

業　績

【主要著書】

1．『英語構文研究』（単著）英宝社，viii+320頁，平成10年２月.

2．『言語の潮流』（編著）開拓社，vi+280頁，平成11年12月.

3．『左方移動』（共著）研究社，viii+199頁，平成14年３月.

4．『言葉のからくり』（編著）英宝社，vi+867頁，平成16年３月.

5．『英語構文を探求する』（単著）開拓社，xi+226頁，平成23年３月.

6．『意味と形式のはざま』（阪大英文学叢書６）（共編著）英宝社，v+305頁，平成23年５月.

【主要論文】（学会誌・海外学術誌関係のみ）

1．“On Locative-Inversion Sentences”『英文学研究』第59巻第２号
（日本英文学会）研究社，pp. 201-220，昭和57年12月.

2．“On Preposition Stranding in Noun Phrases” *English Linguistics* Vol. 1
（日本英語学会）開拓社，pp. 45-66，昭和59年11月.

3．“On γ-Assignment in LF” *English Linguistics* Vol. 4
（日本英語学会）開拓社，pp. 254-272，昭和62年11月.

4．“The Empty Category Principle and Multiple *Wh*-Questions” *English Linguistics* Vol. 6
（日本英語学会）開拓社，pp. 52-71，平成元年12月.

5．“X' Convention and Extended Minimality” *English Linguistics* Vol. 9
（日本英語学会）開拓社，pp. 21-38，平成４年12月.

6．「格理論と可視条件」『英文学研究』第69巻第２号
（日本英文学会）研究社，pp. 261-274，平成５年１月.

7．“On the Double Object Construction” *English Linguistics* Vol. 10
（日本英語学会）開拓社，pp. 95-118，平成５年12月.

8．“Locality”『英文学研究』（*Studies in English Literature* English Number 1994）
（日本英文学会）研究社，pp. 136-144，平成６年３月.

9．「優位効果と最小連結条件」『英文学研究』第73巻第１号
（日本英文学会）研究社，pp. 89-106，平成８年10月.

10. “Island Phenomena and Search Spaces of a Probe”
Linguistic Analysis (2000) 30. 1-2, pp. 67-92.

11. 「特定性効果とフェイズ不可侵条件」『市河賞36年の軌跡』
（語学教育研究所）開拓社，pp. 202-210，平成15年５月.

12.「二重目的語構文の構造―分散形態論の枠組みを用いて―」『言語学からの眺望2003』（福岡言語学会）九州大学出版会，pp. 33-47，平成15年12月.

13. "The Double Object Construction and the Extraction of the Indirect Object" *Linguistic Analysis* (2002) 32. 1-2, pp. 40-71.

14. "The Double Object Construction and Thematization/Extraction" *English Linguistics* Vol. 22. 1（日本英語学会）開拓社，pp. 56-81，平成17年６月.

15.「英語の同族目的語構文の統語構造について」『英文学研究』第６号（特別寄稿論文）（日本英文学会関西支部）pp. 59-65, 平成25年１月.